

活動状況のお知らせ

| 10月 活動報告 | | | 11月 活動報告 | | | 12月 活動報告 | | |
|----------|-------------------|--|----------|------------------|--|----------|---------------------|--|
| 3 金 | 定例会(あかりデイ) | | 2 日 | りんりん 20周年記念コンサート | | 2 火 | あかり講演会打合せ | |
| 4 土 | 波の音こども園運動会 | | 7 金 | 定例会(あかりデイ) | | 4 木 | 担当者会議(訪) | |
| | 公共交通の在り方検討会(市) | | 8 土 | 感謝まつり実行委員会(第6回) | | 5 金 | 定例会(あかりデイ) | |
| 6 月 | 定例会(きらりデイ) | | 10 月 | 定例会(きらりデイ) | | 8 月 | 食事定例会(あかりデイ) | |
| 8 水 | 実地指導(きらりデイ)・企画会議 | | | 食事定例会(あかりデイ) | | | デイ定例会(きらり) | |
| | 感謝まつり実行委員会(第5回) | | 12 水 | 企画会議 | | 11 木 | 企画会議 | |
| 9 木 | 担当者会議(訪) | | | 感謝まつり実行委員会(第7回) | | 12 金 | 火災避難訓練(あかりデイ) | |
| 13 月 | 食事定例会(あかりデイ) | | 13 木 | 障がい者総合支援協議会(市) | | 13 土 | サービスラーニング活動報告会(日福大) | |
| 14 火 | 消防設備点検(あかり・きらり) | | | 担当者会議(訪) | | 17 水 | 波の音こども園との打ち合わせ | |
| 15 水 | 認定調査員現任研修(県) | | 16 日 | あかり感謝まつり | | 19 金 | 運営委員会 | |
| 16 木 | 定例会(傾聴) | | 17 月 | きらり会議・サポートちた理事会 | | 20 土 | 研修会(訪) | |
| | 防災講演会(日福大) | | | 加古社労士打合せ | | 22 月 | きらり会議 | |
| 17 金 | 運営委員会 | | 18 火 | 認知症カフェ打合せ(包括) | | | 波の音こども園 QC 発表会参加 | |
| | サービスラーニング報告会(日福大) | | 19 水 | 安全運転管理者協議会 | | 24 水 | 理事会 | |
| 22 水 | 社会福祉協議会 | | | /班長会議(市) | | 26 金 | 担当者会議(訪) | |
| | ／評議委員会(社協)・デイ部会 | | | 波の音こども園との会議 | | | | |
| 23 木 | 労働条件整備説明会 | | 20 木 | 定例会(傾聴) | | | | |
| | 安全運転管理者講習(常滑警察) | | | 介護保険部会(市) | | | | |
| | ケアラーの集い(傾聴) | | 21 金 | 運営委員会 | | | | |
| | 検便(23~24日) | | 26 水 | ヘルパー部会(包括) | | | | |
| 24 金 | 障がい者総合支援法／ | | 27 木 | ドライバー研修 | | | | |
| | 協議会作業部会 | | | | | | | |
| 27 月 | きらり会議 | | | | | | | |
| 29 水 | ケアマネ部会(包括) | | | | | | | |
| 30 木 | 担当者会議(訪) | | | | | | | |

| | | | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|-----------|-------|-----|-----|-----|
| たすけあい | 在宅・子育て | 活動時間 | 109 | 120 | 97 |
| | | 利用者数 | 23 | 21 | 22 |
| | 移動 | 活動時間 | 176 | 142 | 151 |
| | | 利用者数 | 37 | 38 | 37 |
| 介護保険 | 弁当 | 利用者数 | 250 | 200 | 152 |
| | 訪問介護 | 利用時間 | 602 | 550 | 573 |
| | | 利用者数 | 81 | 80 | 78 |
| | 居宅介護支援 | 利用者数 | 75 | 79 | 82 |
| | あかり | 利用者延数 | 209 | 208 | 193 |
| | きらり | 利用者延数 | 219 | 213 | 207 |
| | 障害福祉等サービス | 利用時間 | 207 | 153 | 199 |
| 地域交流 | | 利用者数 | 27 | 27 | 25 |
| | おいで屋 | 参加人数 | 139 | 162 | 101 |
| | きらり | 参加人数 | 563 | 566 | 495 |
| | 傾聴ボラ | 利用者数 | 54 | 41 | 21 |



発行
常滑市塩田町 2-135
特定非営利活動法人
あかり
TEL/35-4185
FAX/35-6862
<http://akari-npo.jp/>

2015年1月
77号



本年もよろしくお願ひいたします

新しい年となり“地域たすけあいの会 あかり”として発足してから20年目になります。

「住み慣れた地域で暮らしたい」との思いで立ち上げた「地域たすけあいの会」も今まで続けてくることができました。みなさまのお力添えもあってあかりをここまで育てていただき、有難いことと思っています。「困ったときはお互いさま」との思いは今も変わらず、これからも、もっと地域に根ざしていけたらと心しています。

思うようにいかないことに疑問を感じ、続けることが苦しい時もありますが、多くの方々に「ありがとう」の一言をいただくと「こちらこそ」の想いがこみ上げてくるのを感じ、また頑張れる…。それが私たちのエネルギー源だと思っています。

今年は介護保険の改正があり、私たち事業者には痛みを伴う状況が予想されますが、一方ではNPO活動に対して期待も寄せられています。社会の変革に対応しながらも、背伸びをせず等身大で一歩ずつ進んでいきたいと思っています。

代表 西村 広美

賛助会員
(1月25日現在)
岩島 禮子 鳥居 和子

ありがとうございます。
みなさまの温かいご支援があかりを支えます。これからもよろしくお願ひいたします。

ご寄附をありがとうございました。
いろいろな物を多くの方からいただきました。

大切に使わせていただきます。
ハボタンもきれいに育ってきました。
みなさまの温かいご支援があかりを支えます。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

会員数(1月25日現在)

| | |
|------|----------|
| 正会員 | 103名 |
| 賛助会員 | 127名+4団体 |
| 利用会員 | 83名 |
| 合計 | 313名+4団体 |

街かどサロン きらり 2月 3月 催し物ご案内

☆きらりティールームギャラリー 《水・土・日・祝日休み/9:30~16:00までオープン》
写真展《中日写真協会 常滑支部》 2月2日(月)~27日(金)
シャドウボックス展《磯谷 寿香》 3月2日(月)~27日(金)

☆ケアラーの集い

ミニコンサートと茶話会 2月26日(木) 14:30~16:00
参加費 350円

問い合わせ先; NPO法人あかり TEL; 35-4185

あかりでは一緒に活動する仲間を求めています

NPO法人あかりではボランティア活動とお仕事としての活動があります。
ボランティア活動ではあなたのほんの少しの時間でも人と触れ合うことで生かすことができます。
介護の仕事では経験を積みながら充分に力を発揮して仲間と一緒に力いっぱい働いてみませんか。
仕事の選び方、働く時間の選び方もご相談ください。
あなたに合った活動の仕方で、あなたも是非あかりの仲間になってください。

問い合わせ先; NPO法人あかり TEL; 35-4185

あかり講演会 避難弱者

年明け間もない1月18日(日)、お隣の波の音こども園のホールをお借りしてあかり講演会“避難弱者 福島原発事故間近の老人ホームで何が起きたのか”を、相川祐里奈氏を講師に開催しました。講師のご出身は知多半島の南知多町です。今回、偶然のご縁が、講演会を持つことにつながりましたが、事故・災害の時によく語られる「ご縁・絆」という言葉も普段から人のつながりが大切なことを教えてくれます。

相川氏は1986年生まれの若い方です。出産後、数ヶ月とお聞きしました。

慶應義塾大学卒業後、読売新聞社勤務を経て、国会に設置された東京電力福島原子力発電所事故調査委員会(事故調)に事務調査員として参加され、事故調解散後はフリーのジャーナリストとして活躍され、今回の講演タイトル“避難弱者”を上梓されました。

ご自身の「曾祖母が施設に入所している、もしその施設であのような惨事が起こったら…」と、報道も少ない老人施設の取材に思い至り今回の執筆につながった、と。

本の中にも克明に描かれていますが、被災した施設の入所者への対応を、避難させるか留まるか。では、避難先は、留まったとしてどのように生活

するなど、入所者に寄り添い涙を流しながら話してくれた介護職員の悩んだり、悔んだり、迷ったりした葛藤や決断の様子を現地で取材、パワーポイントも使って、生々しく話してくださいました。

そして、大きな災害であっても日ごろの避難訓練は何より大事だ、と。また、あらゆることを想定して訓練することで少しでも落ち着いて行動できるようになるのではないか、と結ばれました。

あかりも火事を想定したり津波を想定したりして避難訓練を隨時行っていますが、デイサービス担当の若い職員が「今まで逃げることばかりを考えていたが、食料の備蓄や地域の方の避難場所になることも想定して考えていかなければ…」との感想を話してくれました。あかりの役割はなかなかなものと心していくかなければと思った次第です。

今回は「ご縁で成了った講演会のことだから講師料は活動に役立てほしい」と相川氏からあたたかいお申し出がありました。当日会場に設けた募金箱の、皆さまからの募金とともに福島に送って役立てていただきます。

多くの皆さま、ご参加ありがとうございました。



デイハウスあかりです、今年もよろしく！



みんなで手作業をします。こども園の園児たちが遊びに来ると本当に良い笑顔でお相手をしてくれます。今日のランチはお好み焼きだったのでしょうか、みんなで作って「いただきます」

デイハウスあかりはいつも利用者さんたちが笑顔でいてくれることが魅力です。

現在、認知症が進行中であったり介護度の高い方や、介助の頻度の高い方が増えています。そんな中、利用者さん同士が、認め合って、手伝い合い励まし合っています。リハビリのためのゲームにハンデをつけて行う時も「がんばってね」「すごいよ」と応援しあい、助け合いや思いやりのある空間が出来ています。利用者さんたちの状態の変化は私たちの仕事の内容を難しくはしますが、より次につなげる機会を作ってくれます。介助の声かけやコミュニケーションの時にできる限り利用者さんと気持ちを通じ合わせることで安全で、少しでも自分らしく過ごしていただけることを目標に、最近はファミリーに近い、仲間同士のような思いで日々、努めています。

デイサービス担当 永田鉄男



きらりディです、どうぞよろしく！

《デイサービス きらり》は10:15~13:30の短時間デイサービスをおこなっています。

昨年10月頃より、やっときらりも「利用予定員がいっぱいです」と言える曜日が出来てきました。

きらりは「まだデイサービスなんか私には早い」「家でやりたいことがあるから一日中は出かけてられない」「新しい自分探しをしたい」「話し相手がほしい」「趣味を続けたい」「人の役に立ちたい」人など、まだ私は元気にやれると思っている方々の居場所かと思います。

趣味のマージャンやさわり織りを通じ、ボランティアさんやきらり教室に来られた生徒さんと会話をしたり、お茶の時間やレクリエーションの休憩の合間にティールームにパンを買いに行ったりされています。気づくと、食後にコーヒーを飲みに行っている方もあります。

ティールームの作品展示をお客さんに交じって見に行ったりもする、この自由さがいいのかな。そんなことを思ってくれるきらりの毎日は一度覗いてみるとよくわかっていただけののではないかと思います。気楽に覗いてみてください。

デイサービス担当 加藤美佐枝

きらりでは麻雀大会が恒例になり、年2回行われます。昨年の12月の大会ではボランティアさんが8人参加で、4卓を囲み男性も女性も混ざり、ハンデなしで行いましたところ、利用者である92歳の女性が賞状とメダルと景品を手にされました。

アレンジフラワーに興味をおぼえれば男性だって挑戦します。こども園の園児たちにお誕生日のプレゼントを渡すときの笑顔はみんなが癒されるお顔です。

第6回感謝まつりを終えて

昨年、11月16日(日)波の音こども園の庭とホールと、きらりを会場に

第4回や5回の、からつ風の吹いた感謝まつりとは違い、とても穏やかであたたかな日の感謝まつりとなりました。参加者は350人余の人出で、外では子どもたちや大人も混じってゲームをしたり、バザーの買い物を楽しんだりしていました。

波の音こども園のホールではフラダンスを始め、ダンスの仲間たちが幼は3歳から男女、大勢出演してくれました。

今年の変わり種はちんどん屋さんで、初めての試みでした。昼食はあかりのヘルパーさん手作りカレーを振る舞い、美味しい漬物の差し入れもみんなで喜んでいただきました。

お天気が良かったので中庭の芝生に座って屋外で食べる人も多く見かけました。

ご近所さんやあかりを利用して下さっているご家族の方たちの参加もあり、和気あいあいとしたアットホームな感謝まつりでした。この感謝まつりが何回も積み重なって続くように第6回の幕を閉じました。7回も8回も、是非ご参加ください。

